

編集後記

本号は、史学科在籍の多くの先生がたからバラエティーに富む原稿をお寄せいただき、充実した号となりました。この三月に御定年とられる影山好一郎先生、また母校・龍谷大学にお戻りになる吉田賢司先生のご退職のお二人の先生からも、お忙しい中、玉稿を頂戴することができました。お原稿にもありますように、両先生は、我が史学科を愛され、教員や学生たちからも大変慕われた素晴らしい先生でした。感謝いたしますとともに、先生がたの今後のご発展を心よりお祈りいたします。

またここに、まことにづらい訃報もお伝えしなければなりません。この一月二日、東洋史の愛宕元先生がご逝去されました。去る十二月後半にはご退職のご意向が伝えられていたのですが、誰もが思いもしなかった急逝に痛恨の悼みを覚えます。ここに謹んで哀悼の意を表させていただきます。愛宕先生につきましては、本誌次号に追悼記事を掲載させていただきたいと思っております。

(岡部)